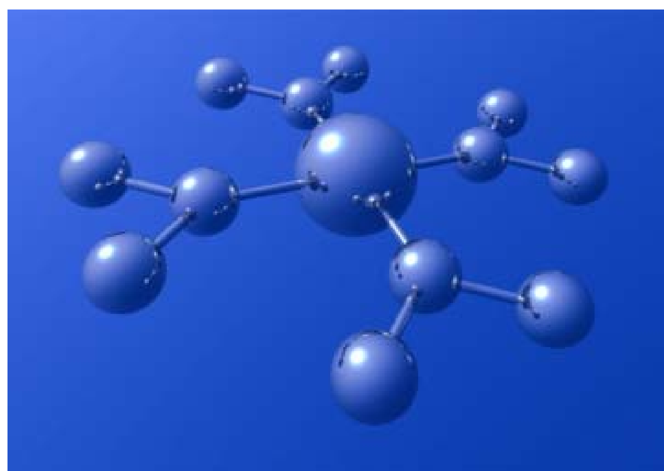
CIVIL ENGINEERING WORKS PC SYSTEM

PDF MANUAL

建設ギア統括システム

GEAR MENU 2

for Windows



KENSETU GEAR SERIES



株式会社 シャープ松山オーエー

http://www.sharpoa.jp

目　次

１．「ギアメニュー」の概要

１．１「ギアメニュー」の機能

全ての受注工事を「ギアメニュー」で一元的に管理すると、**「ギアメニュー」の持つ以下の２つの機能**によって、工事に関係する文書・図面・写真等の管理効率を、飛躍的に向上させます。

①　物件管理

「ギアメニュー」を立ち上げると、下図のギアメニューが管理している物件の一覧表が表示されます。この一覧表に含まれる一つ一つ受注物件の関係文書（工程・出来形・写真など）について、その完成度が一望でき、成果品の電子納品に向けての作業管理が容易になります。

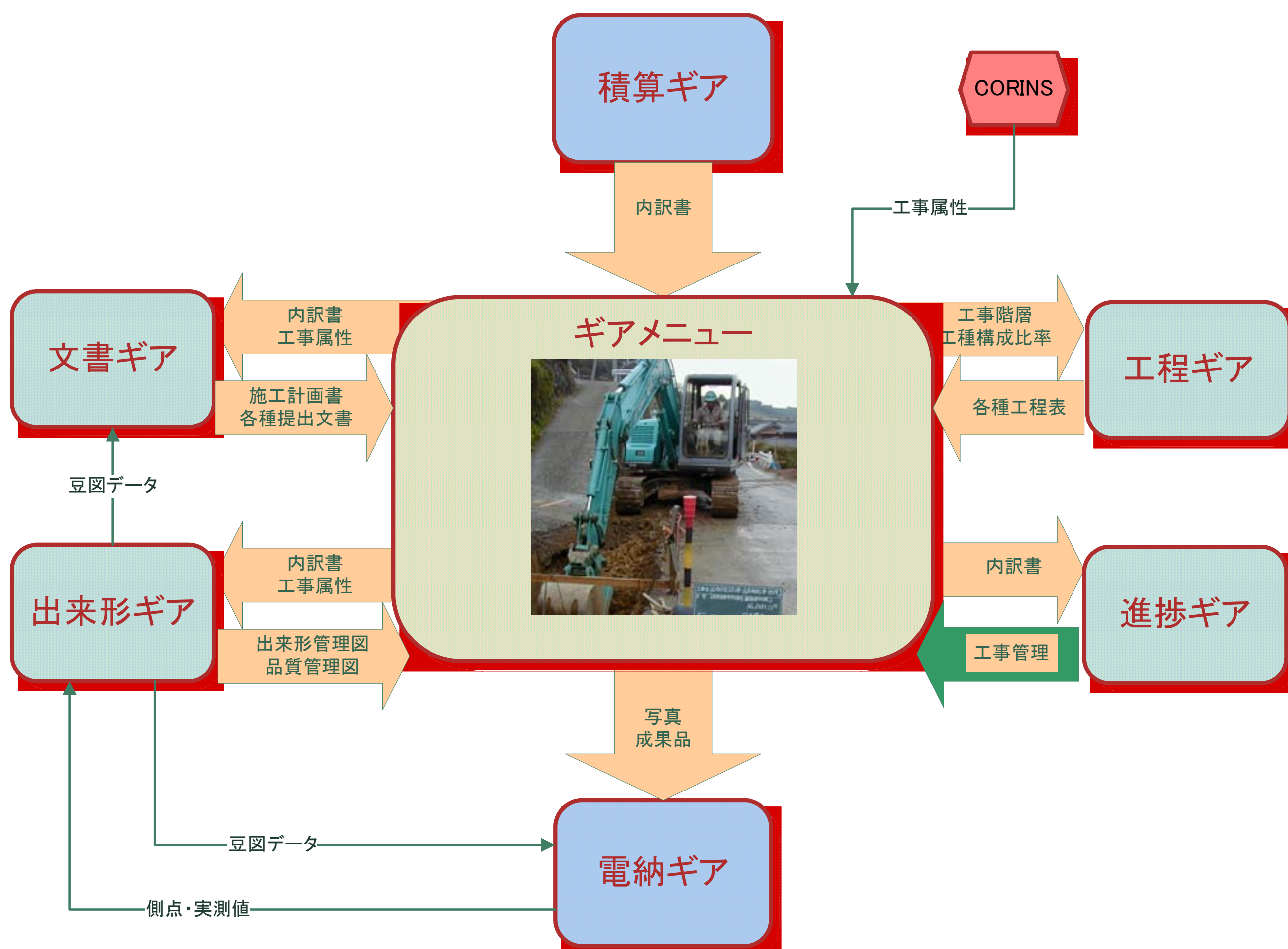
「ギアメニュー」が管理している物件一覧

アプリケーション一覧

一覧表の中から物件を指定した後、画面の左下部にあるアプリケーション一覧の中から選択して、作業を行います。

② データの継承

また、「ギアメニュー」は、各物件の積算時に入力した「工事基本情報」や「工種階層データ」を、「工程ギア」・「出来形ギア」・「文書ギア」・「電納ギア」・「進捗ギア」に自動的に引き継ぐことによって、各プログラムへの２重入力がなくなります。更には、下図の様にプログラム間のデータ交換も自動的に行いますから、入力作業を大幅に削減します。



１．２「ギアメニュー」の画面構成

「ギアメニュー」の画面構成は、下図のとおりです。

物件一覧表

管理フォルダ名

作業環境設定プルダウンメニュー

物件管理メニュー

C:¥新ギアメニュー¥GEAR-DATA(1)

設定(X)　ユーザー(Y)　ヘルプ(Z)

工事名称	工事名称番号	工期	工事箇所	作成／更新日
××砂防改修工事	第1120号	06/08/03 ～ 06/10/12	○○県××市	2006/09/19 12:5...
○○○河川災害関連工事	西単第16号	06/07/06 ～ 06/09/13	○○市○○町1丁目	2006/09/11 10:5...
○○堰落石対策(A地区)工事	南単第23号	06/07/05 ～ 06/07/05	○○県○○市丸々町	2006/09/14 11:4...
△△谷川通常砂防工事	東単第82号	06/07/13 ～ 06/10/11	○○県××郡香北町...	2006/09/19 12:5...
温単第1555号道路改良工事	第○○○号 ...	05/10/15 ～ 06/03/25	○○県○○○市	2006/10/03 14:0...
第15号道路改良工事	第140号	05/10/15 ～ 06/03/25	○○県××市○○○	2006/09/19 12:5...
第15号道路改良工事	第140号の2	05/10/15 ～ 06/03/25	○○県××市○○○	2006/09/19 12:5...
道路改良工事	第123号☆	06/04/01 ～ 06/09/30	○○県	2007/01/19 09:4...
平成15-16年度　○○線道...	西単18号	06/09/05 ～ 06/11/15	○○県××郡△△町	2007/01/19 09:4...

資料管理　電納ギア　出来形ギア　工程ギア　文書ギア　積算ギア

原価ギア　進捗ギア　測量ギア

編集中のアプリケーション

資料管理　電納ギア

出来形ギア　進捗ギア

総数：9

実行可能なアプリケーション一覧　　編集中のアプリケーション一覧

① 物件一覧表

管理対象となっている物件の一覧表が表示されます。

ただし、②で表示されているフォルダの中にある物件のみが表示されます。別のフォルダにある物件を表示するには、③の「作業環境設定プルダウンメニュー」を使って現在の表示フォルダを該当の管理フォルダに置き換える必要があります。

② 管理フォルダ名

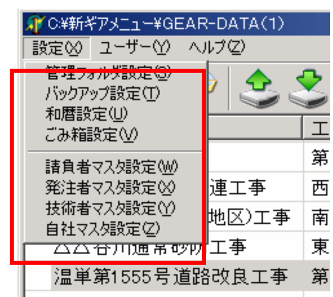
① の「物件一覧表」に表示されている物件が保管されているフォルダ名が表示されています。

③ 作業環境設定プルダウンメニュー

＜設定＞

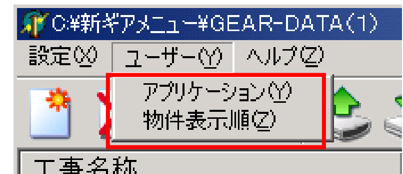
物件フォルダ等の関係するフォルダや各種マスタなどを管理します。

（詳細は４章参照）



＜ユーザー＞

「実行可能なアプリケーション」の設定（詳細は５章参照）や「物件一覧表」の表示順序を管理する場合に利用します。



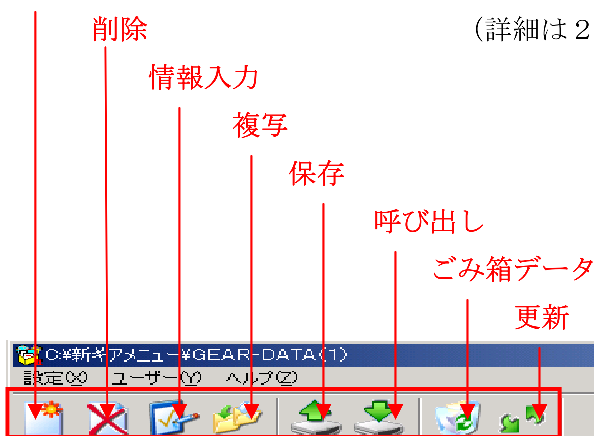
＜ヘルプ＞

「ギアメニュー」自体のバージョン管理を行います。



④　物件管理メニュー

物件管理メニューには、以下のようなメニューが用意されています。（詳細は２章参照）



工事名称	工事名称番号
××砂防改修工事	第1120号
○○○河川災害関連工事	西単第16号
○○堰落石対策(A地区)工事	南単第23号
△△谷川通常砂防工事	東単第82号
温単第1555号道路改良工事	第○○○号　土地改良工事
施設災害復旧事業	17年災第559号
第15号道路改良工事	第140号の2
道路改良工事	第123号☆
平成15-16年度　○○線道路改良工事	西単18号

実行可能なアプリケーション一覧

登録されているアプリケーションの一覧がアイコンで表示されています。物件一覧表から物件を指定したのち、この中から該当のアプリケーションを選びます。（詳細は３章参照）データが確定した状態のアプリケーションは、“完”のアイコン（この例では積算が“完”になっています）に変えて、立ち上げることが出来ないようにしています。

⑤　編集中のアプリケーション一覧

物件一覧表から特定の物件を指定すると、その物件について現在編集中（最終データとして確定していない状態）のアプリケーションがこの枠内に表示されます。それぞれのアプリケーションへのデータが確定すると、「実行可能なアプリケーション」のアイコンを“完“に変えます。

２． 物件管理

２． １ 物件一覧表の操作

「物件一覧表」は、指定されたフォルダで管理されている登録物件が表示されていますが、これを操作するには「物件管理メニュー」を使用します。



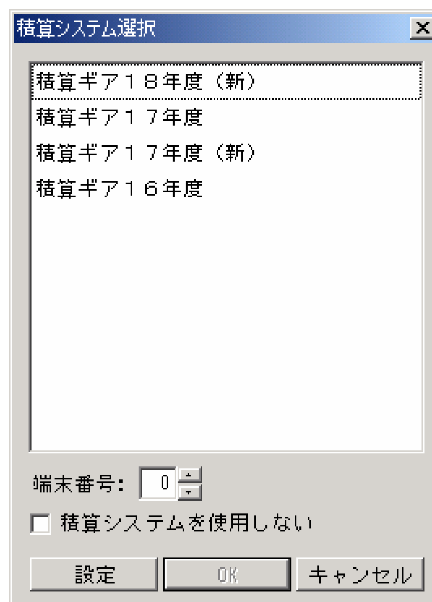
① 新規作成

物件一覧表に新しい物件を追加作成する場合に、使用します。

新規作成



このボタンを押すと、まず右の「積算システム選択画面」が表示されます。これは、当社製品「積算ギア」の年度を指定し、その年度版で積算された物件を抽出するためです。この画面から年度を指定して、画面下の“ＯＫ”ボタンを押すと、指定された年度版で積算された物件の一覧表が表示されます（次頁)。この中から、新たに「ギアメニュー」で管理する物件を選択して、“ＯＫ”ボタンを押し「物件一覧表」に取り込みます。つまり、通常の“新規作成“とは、「積算ギア」によって積算された物件を、新しく「ギアメニュー」に“取り込む”ことを意味します。その“取り込み“よって、その物件の積算結果データを以降のプログラムに引き継いでいくことができるのです。（なお、積算データを取り込まずに「物件一覧表」に新規作成する場合は、“積算システムを使用しない”にチェックを入れて、“ＯＫ”を押します。）



積算物件の取得(17年度)

工事番号: 17年災第5／59号

工事名: 施設災害復旧事業

DOB_OPN

ファイル名	歩掛	工事番号	工事名	区分
17年災第5／59号	公共	17年災第5／59号	施設災害復旧事業	当初
17年災第5／59号【変更01	公共	17年災第5／59号	施設災害復旧事業	変更
17年災第5／59号【変更02	公共	17年災第5／59号	施設災害復旧事業	変更
TEST	公共	TEST		当初
道改第567号	公共	道改第567号	道路改築工事	当初
道路路側改良100号工事	公共	道路路側改良100号工事	路側改良工事	当初

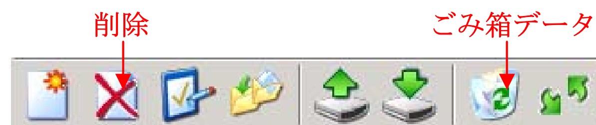
物件詳細

工事箇所：馬地下地区
工種区分：海岸工事
共通補正：地方部･施工場所が一般交通等の影響を受けない場合
現場補正：地方部･施工場所が一般交通等の影響を受けない場合
契約補正：ケース3:ケース1及びケース2以外の場合
工期：平成18/ / ～ 平成18/ /
発注者：
単価区分：通常単価

積算区分：当初
積算者：
事務所：西予
地域：野村町(野村坂石)
単価期：平成17/07
最終更新日：2006/06/06
容量：298.4 KByte

全表示　検索　OK　ｷｬﾝｾﾙ

② 削除とごみ箱からの戻し



「物件一覧表」の特定の物件を削除したい場合、その物件を指定して、メニューバーの“削除“を押すと、以下のような確認画面が表示されます。

確認

工事名:第15号道路改良工事
工事番号:第140号
フォルダ:C:¥新ギアメニュー¥GEAR-DATA(1)¥KOJI0003

削除しますか？

はい(Y)　いいえ(N)

ここで、“はい”を選択し、以下の確認画面にしたがって削除します。

確認

ごみ箱に移動しますか？
「いいえ」を選択した場合、コンピュータ上から完全に削除されます

はい(Y)　いいえ(N)

ごみ箱に移されたデータを管理フォルダに戻したい場合は、“ごみ箱データ”を押して、下のような「ごみ箱にある物件一覧表」の中から、該当の別件を選択して“管理フォルダに戻す”を押します。

管理フォルダに戻す

ごみ箱 - C:¥Documents and Settings¥AIBARA¥My Documents¥ギアメニュー¥ごみ箱

設定(X)　ユーザー(Y)　ヘルプ(Z)

工事名称	工事名称番号	工期	工事箇所
	市国交道第○○号	06/08/25 ～ 06/10/05	○○市○○通○
共同溝整備工事	市国交道第○○号	06/08/25 ～ 06/10/05	○○市○○通○
共同溝整備工事	市国交道第○○号	06/08/25 ～ 06/10/05	○○市○○通○
市道○○線電線共同溝整備工事		05/10/15 ～ 06/03/25	○○県○○市○

③　情報入力

情報入力



「物件一覧表」の特定の物件を指定して、メニューバーの“情報入力“を押すと、指定された物件の詳細情報が表示されます。（下図）

物件の詳細情報は「基本情報」「発注者情報」「請負者情報」「技術者情報」「積算情報」「自社項目」の6画面に分かれていて、画面上部のタグで切り替えることが出来ます。これらの詳細な物件情報は、それぞれの画面から更新することが出来ます。また、初期データの入力は、コリンズや施主から指定されたＸＭＬから取り込むことが出来ます。

コリンズの取り込み

ＸＭＬの取り込み

物件の新規作成

基本情報　発注者情報　請負者情報　技術者情報　積算情報　自社項目

フォルダ名
工事名
入札番号又は工事番号
工事名称番号
工事契約コード
開始工期　終了工期
路線河川
工事分野
工事業種
工事概要
請負金額
発注年度　コリンズバージョン
工種，工法・型式
1 2 3 4 5
工種
工法・型式
施工場所
1 2
施工場所コード
施工場所

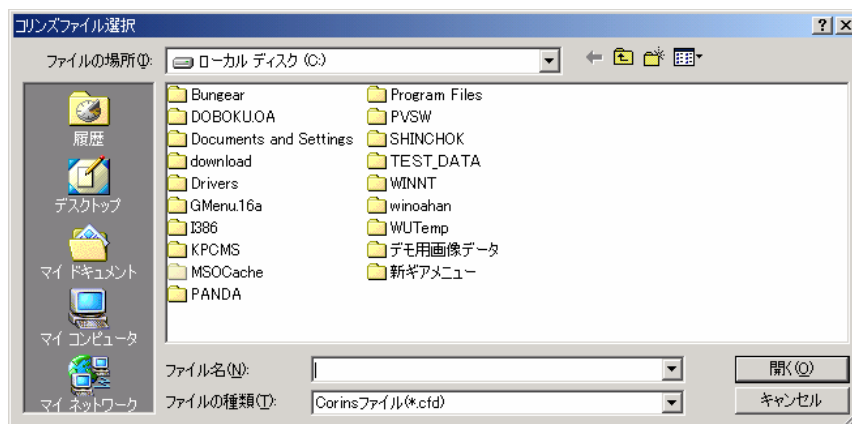
※赤色文字項目はコリンズより取り込み可能な項目

OK　キャンセル

＜コリンズの取り込み＞

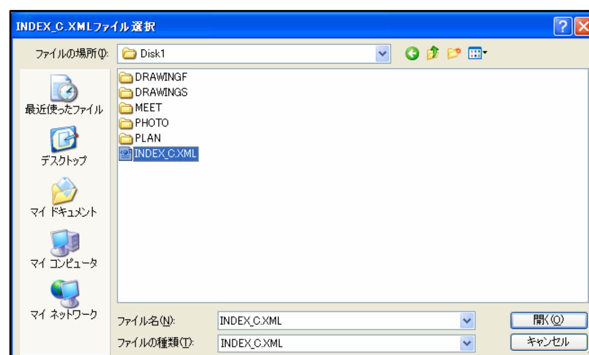
また、“CORINS”（(財) 日本建設情報総合センター（JACIC：ジャシック）が公益法人という立場で、工事実績情報のデータベースを構築し、各発注機関へ情報提供を行っています。そのデータベースが「CORINS（コリンズ：工事実績情報サービス)」と呼ばれるものです。）から自動的に取り込むことも可能です。

“コリンズの取り込み”ボタンを押すと右のような“コリンズファイル選択画面”が表示されますので、ここから該当のコリンズファイルを指定します。（なお、CORINS データの取り込みには、あらかじめデータをローカルディスクに取り込んでおく必要があります。）

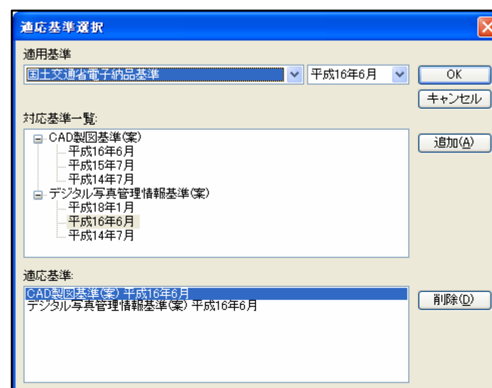


＜ＸＭＬの取り込み＞

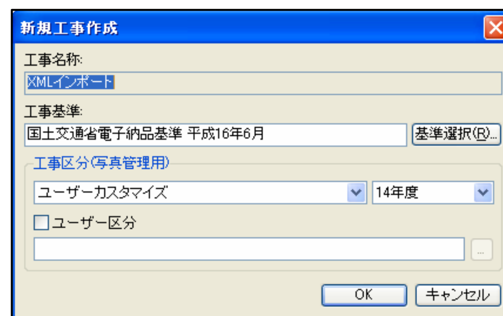
“ＸＭＬの取り込み”ボタンを押すと右のような“ＸＭＬファイル選択画面”が表示されます。



上の画面から所定のファイルを選択すると、自動的に電納ギアが起動して、右の「適応基準選択画面」が表示されます。

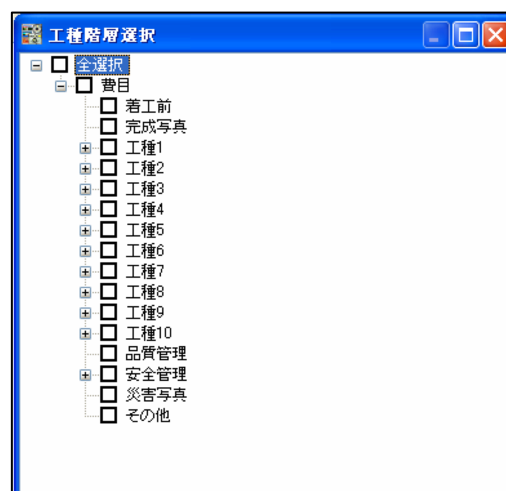


上の画面から基準年度を選択すると、電納ギアの「新規工事作成画面」が表示されます。この画面では無条件に“ＯＫ”を押してください。



続いて、電子納品の写真管理フォルダとしての右の「工種階層選択画面」が表示されます。指定されたＸＭＬの中に、ＰＨＯＴＯ．ＸＭＬが含まれている場合は、「全選択」のチェックボックスをＯＦＦにして“ＯＫ“を押してください。

インポートが自動的に始まります。ギアメニューと電納ギアの双方にＸＭＬのデータが取り込まれます。



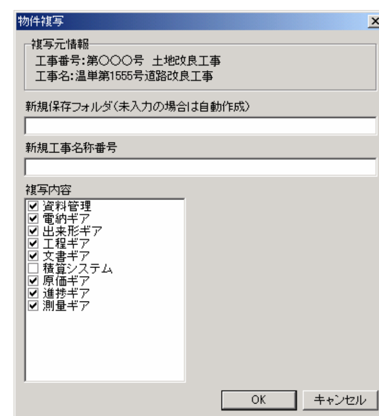
④　複写

既存物件を複写再利用することによって、
新規物件の情報入力作業を省略したい場合は、
“複写”を使います。



“複写”を押すと、右の「物件複写」画面が表示されます。複写先のフォルダ名・工事名称番号を入力し、複写内容を指定して、“ＯＫ”ボタンを押すと複写されます。その内容を適宜更新して新規物件として登録してください。

なお、新規保存フォルダを指定しない場合は、非複写物件と同じフォルダに複写されます。

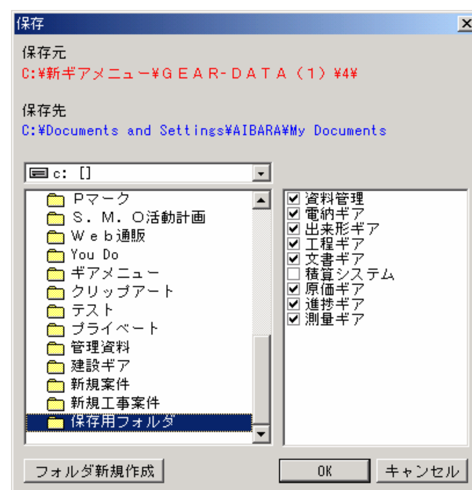


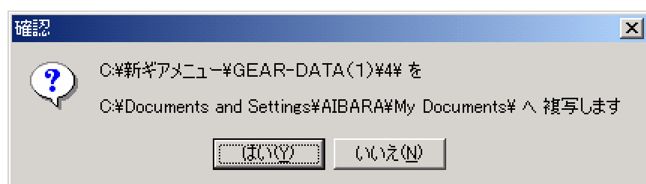
⑤　保存と呼び出し

操作ミスやハードウェアトラブルで、大切なデータが復元できなくなった時のために、“保存”と“呼び出し“が用意されています。

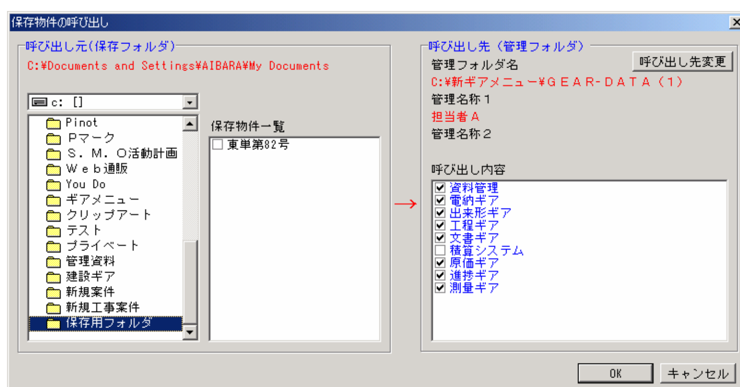


物件一覧表から保存しておきたい物件を指定して、“保存”を押すと、右のような保存先のフォルダを指定する画面が表示されます。ハードウェアのトラブル対策のためには、保存先を物理的に別にしておく必要があります。保存先とその物件の保存すべきデータの内容を指定して、“ＯＫ”を押すと、下のような確認画面が出て“はい”で保存されます。





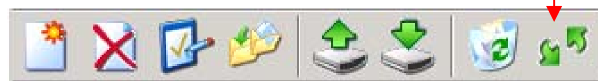
保存しておいた物件の呼び出しは、“呼び出し”を押して、下の「保存物件の呼び出し」画面を表示させます。ここから該当の物件を選択して“ＯＫ”を押します。



⑥　更新

更新





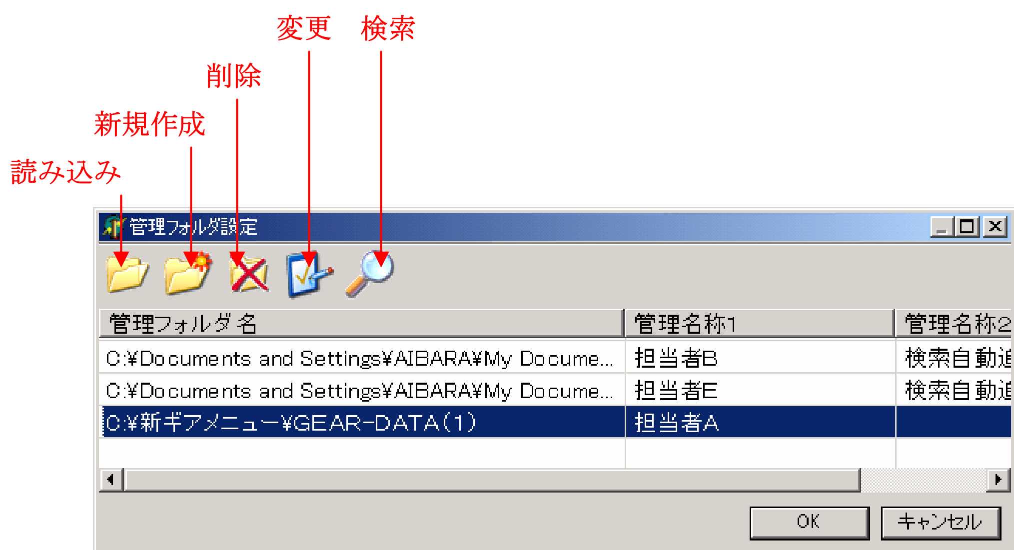
同じ管理フォルダ上で、複数の端末から作業をしている場合、サーバーの最新データと個々の端末データとに差異が生じることがあります。“更新”を押すと、サーバー上の最新データを取り込んで、表示してくれます。

２． ２ 物件管理フォルダの操作

物件を管理するフォルダを操作する場合は、作業環境設定用プルダウンメニューの“設定”を押して、“管理フォルダ設定”を選択します。



すると、「ギアメニュー」で管理している物件の入った下の「フォルダの一覧表」が表示されます。



この例では、担当者ごとに３つのフォルダで管理されています。

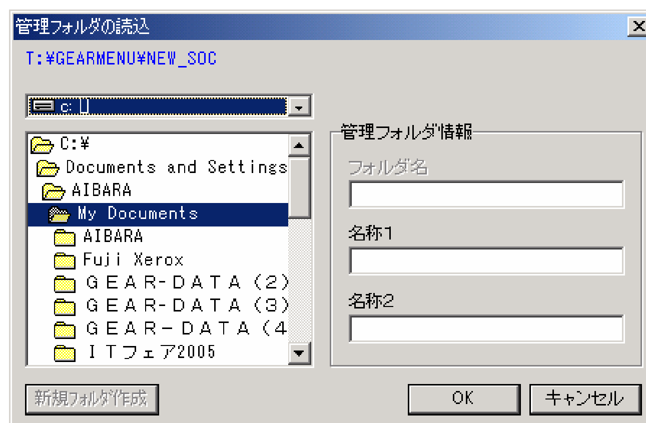
① 基本画面の物件一覧表の切り替え

この例で基本画面の物件一覧表に表示されているのは、“担当者Ａ”の“Ｃ¥新ギアメニュー¥ＧＥＡＲ－ＤＥＴＡ（１）”（表示が反転している）というフォルダ内の物件ということです。ここで別のフォルダを選択して“ＯＫ”を押すと、選択したフォルダ内の物件が基本画面の物件一覧表に表示されます。

② 読み込み



「ギアメニュー」の管理下にないフォルダを、管理フォルダ一覧表に新しく読み込む場合は、“読み込み”を押します。

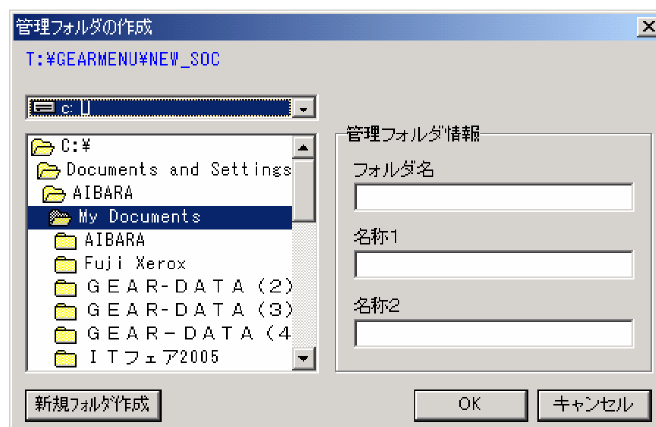


右のような「管理フォルダ読込」画面が表示されます。該当のフォルダを指定し、名称を入力して“ＯＫ”を押すと指定したフォルダが、フォルダ一覧表に追加されます。

③　新規作成

既存のフォルダの読み込みではなく、新しくフォルダを作成する場合は、“新規作成”を押します。





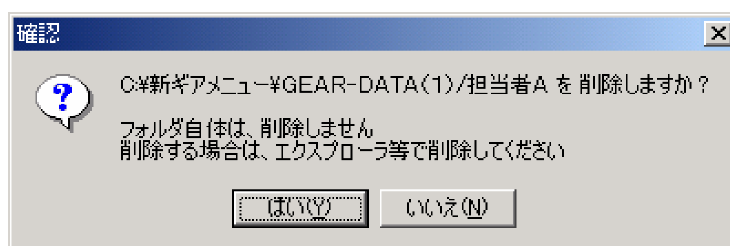
右のような「管理フォルダの作成」画面が表示されます。新しいフォルダ名を指定し、名称を入力して“ＯＫ”を押すと指定したフォルダが、フォルダ一覧表に追加されます。

ただし、この段階ではフォルダが作成されただけで、中にデータは存在しません。

④　削除

フォルダ一覧表の中の特定のフォルダを指定して、“削除”を押すと以下の確認画面が表示されます。“はい”を押すとフォルダ一覧表から削除されます。ただし、フォルダ自体はディスク上に存在しています。



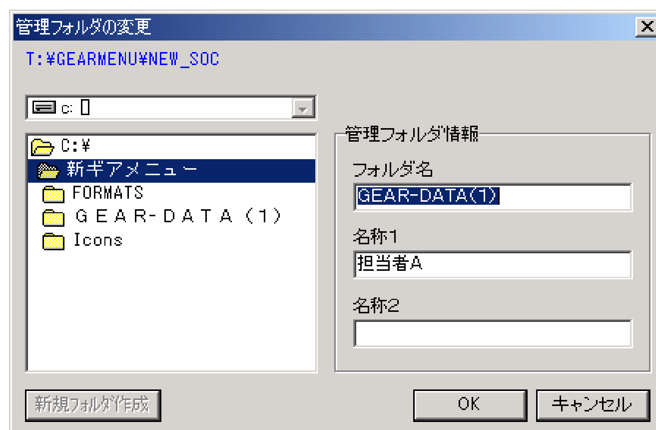


⑤　変更

フォルダ一覧表の中の特定のフォルダを指定して、“変更”を押すと、以下の「管理フォルダの変更」画面が表示されます。

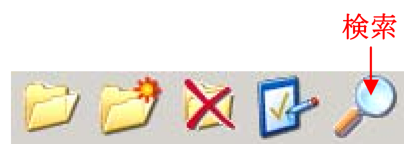


右側の“管理フォルダ情報”を変更して“OK”を押すと変更されます。ここではフォルダ名や名称１・２の変更を行い、フォルダ内のファイル情報の変更は物件一覧表から行います。（２．１の③）

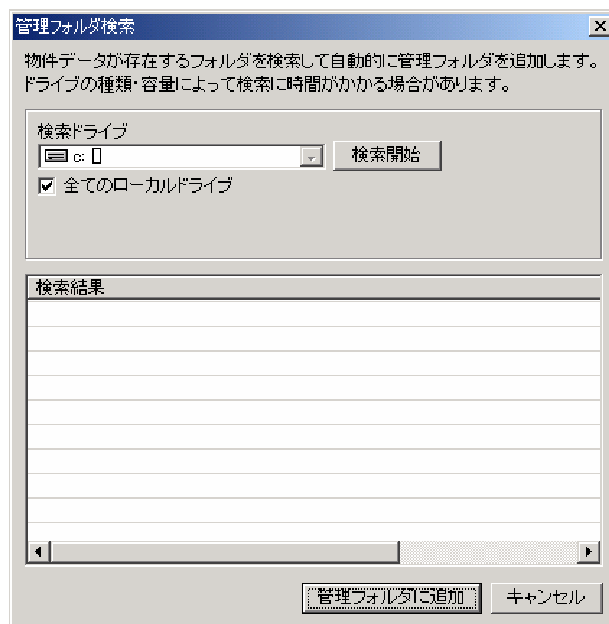


⑥　**検索**

“管理フォルダ検索”を押すと下の「フォルダ検索」画面が表示されます。ここで、“検索開始”を押すと「ギアメニュー」で管理した物件が存在するフォルダ名を、“検索結果”に一覧表示します。

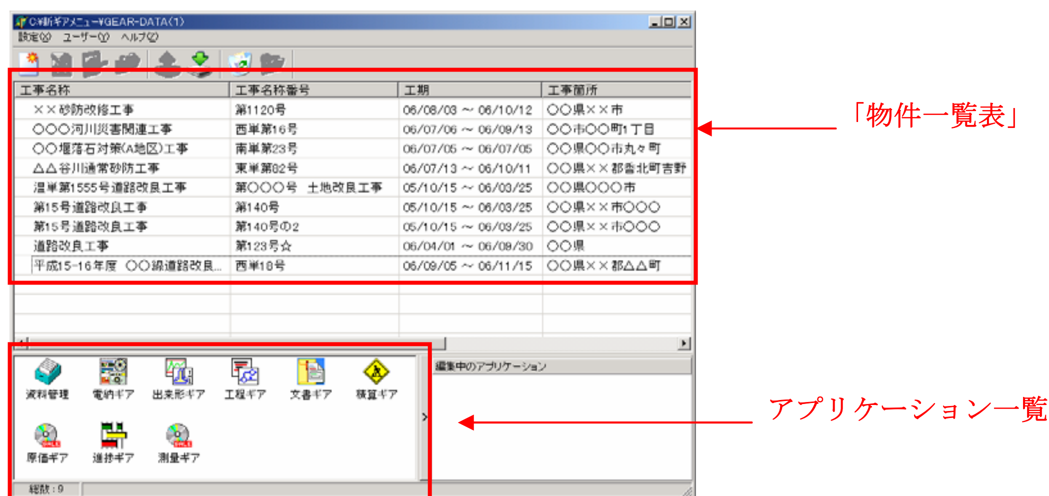


その中から、“管理フォルダに追加”を押すと、「管理フォルダ一覧表」に追加することが出来ます。



３．アプリケーションの起動

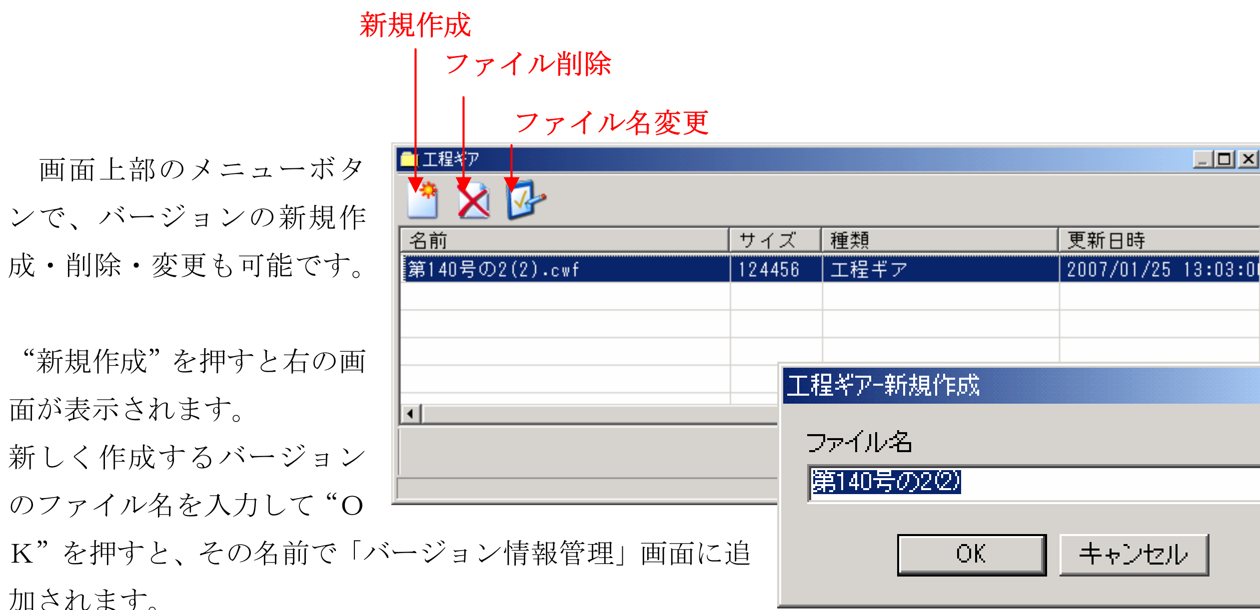
「ギアメニュー」からアプリケーションを起動させるには、「物件一覧表」から該当の物件を選択して、下の「アプリケーション一覧」の使用するアプリケーションをダブルクリックします。



＊注意＊　該当の物件について、そのプログラムを始めて起動する場合、そのプログラムの表示文字は“黒”ですが、既にそのプログラムを起動させて結果が保存されている場合は、プログラムの表示文字は“青”で表示されます。

３．１　工程ギア

物件を指定して、「工程ギア」をダブルクリックすると、下の画面が表示されます。この画面は、その物件の「工程ギア」のバージョン情報を管理する画面です。この例では、既に一つの「工程ギア」の出力結果が保存されています。保存されているバージョンを更新する場合は、そのバージョンを指定して、“開く”を押すと、そのデータを自動的に読み込んで、「工程ギア」が立ち上がります。



画面上部のメニューボタンで、バージョンの新規作成・削除・変更も可能です。

“新規作成”を押すと右の画面が表示されます。
新しく作成するバージョンのファイル名を入力して“OK”を押すと、その名前で「バージョン情報管理」画面に追加されます。

バージョン情報管理画面からバージョンを選択して、“開く”を押すと、「工程ギア」が立ち上がりますが、この時点でその物件の工事情報が「工程ギア」に自動的に引き継がれ、「工程ギア」における「図枠作成」画面（下図）に表示されます。

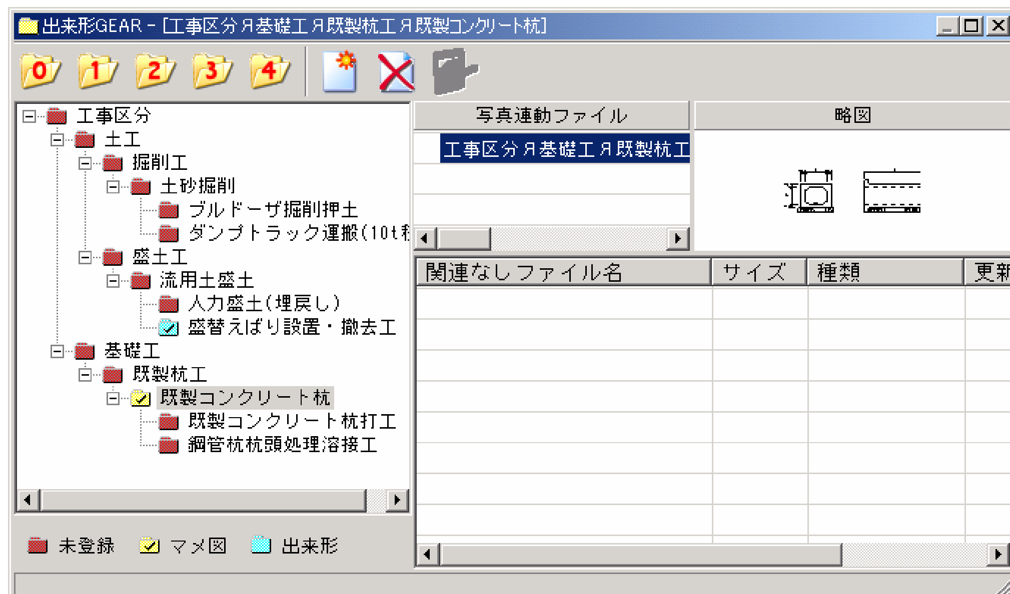
自動変換

「ギアメニュー」から
引き継がれた工事情報

更には、積算データの“自動変換”を押すことによって、その物件の積算結果から“工種ツリー”データや金額データを引き継ぎ、各種工程表に反映します。（詳しくは「工程ギア」取扱説明書参照）

３． ２　出来形ギア

「物件一覧表」から物件を指定して、「アプリケーション一覧」の「出来形ギア」をダブルクリックすると、下の画面が表示されます。画面左の“工種ツリー”は、指定した物件の積算データから自動的に取り込んだものです。このように、出来形管理の各種帳票をこの工種ツリーで管理することによって、作業の効率化を計っているのです。途中に青色や黄色フォルダが有りますが、青色のフォルダは既に出来形のデータが存在して、黄色のフォルダには出来形管理のための豆図が、既に対応つけられていることを意味しています。「出来形ギア」は、この“工種ツリー”から該当のフォルダを選択（ダブルクリック）することによって、起動します。管理の対象工種を指定した後に、出来形管理が始まります。また、入力されたデータは、そのフォルダで保管されます。

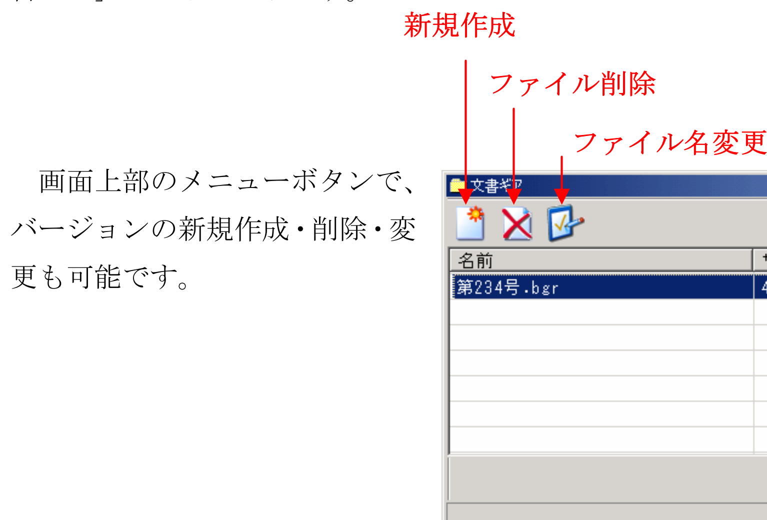


フォルダが指定（ダブルクリック）されると、「出来形ギア」が立ち上った後、下のような「出来形編集」画面から入力していきます。（「出来形ギア」取扱説明書参照）

３．３　文書ギア

「物件一覧表」から物件を指定して、「アプリケーション一覧」の「文書ギア」をダブルクリックすると、下の画面が表示されます。この画面は、その物件の「文書ギア」のバージョン情報を管理する画面です。この例では、既に一つの「文書ギア」の出力結果が保存されています。保存されているバージョンを更新する場合は、そのバージョンを指定して、“開く”を押すと、そのデータを自動的に読み込んで、「文書ギア」が立ち上がります。

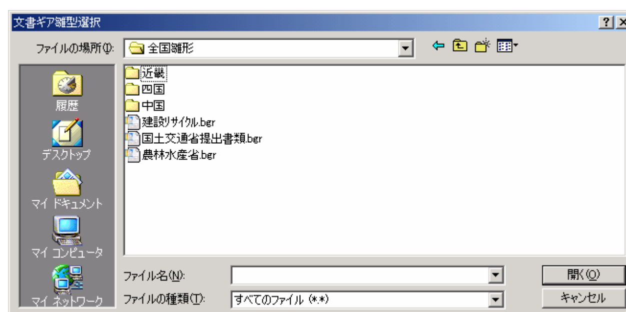
画面上部のメニューボタンで、バージョンの新規作成・削除・変更も可能です。



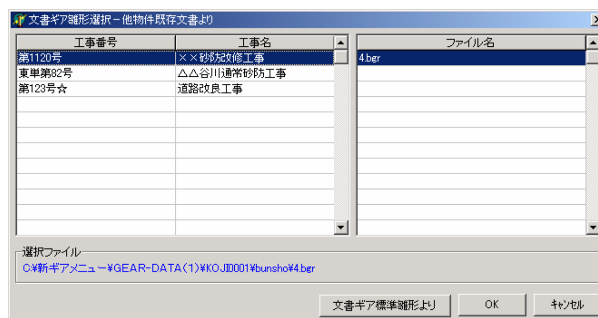
“新規作成”を押すと右の画面が表示されます。新しい文書ファイルを作成する場合は、ファイル名を入力し、その雛形を指定する必要があります。「文書ギア」があらかじめ用意している標準雛形を使用するか、他の物件の文書を雛形として使用するかを、画面下のボタンで指定します。



“文書ギア標準雛形使用”ボタンをおすと右の画面が表示されます。国交省をはじめ全国の様々な発注主体の標準文書が用意されていて、この中から選択し“開く”を押すと「文書ギア」が立ち上がります。



“他物件ファイル使用”ボタンを押すと右の画面が表示されます。この中から、雛形として使用する物件及びそのバージョンを選択し“ＯＫ”を押すと「文書ギア」が立ち上がります。



下の例は、「ギアメニュー」からある物件を指定して、新規に「文書ギア」を立ち上げた状態の画面です。この段階で既に指定された雛型の文書の中に、工事名や受注者名等の工事情報が、埋め込まれています。すなわち、「ギアメニュー」が管理しているその物件の詳細情報が、用意された全ての雛型文書に自動的に埋め込まれる仕組みになっています。(詳しくは「文書ギア」取扱説明書参照)

自動的に取り込まれた雛型文書の目次

３．４　進捗ギア

「物件一覧表」から物件を指定して、「アプリケーション一覧」の「進捗ギア」をダブルクリックすると、下の画面が表示されます。この画面は、進捗管理における“実行予算策定”の画面です。

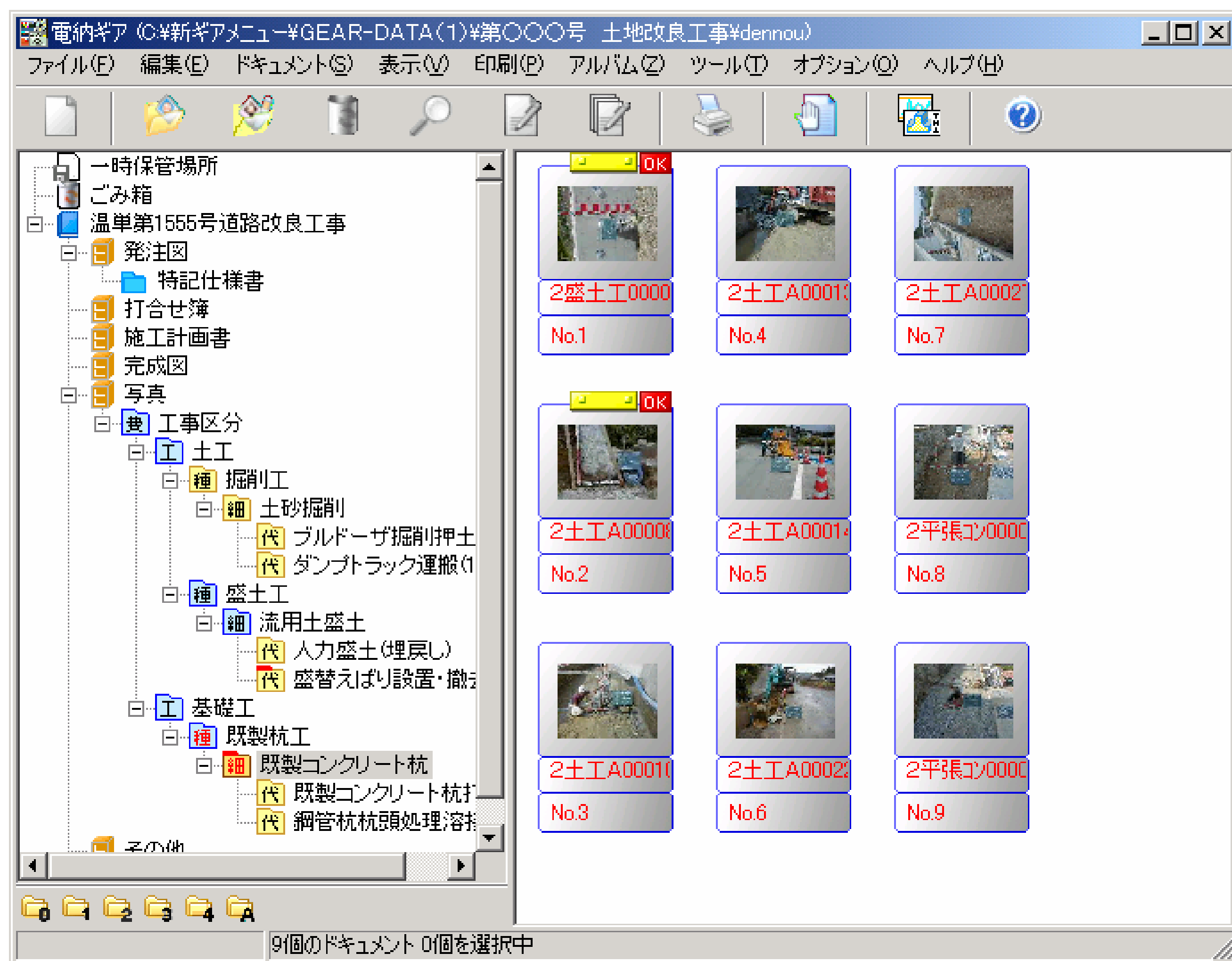
画面上部のプルダウンメニュー“特別処理”の“積算データ取込み”を押すと、以下の積算データ取り込み画面が表示されます。

これは、この物件の積算データそのものです。この積算データを、上の“実行予算表”に取り込むために、この画面上で編集作業を行ないます。（詳しくは「進捗ギア」取扱説明書参照）このようにして「ギアメニュー」を通して、「積算ギア」と「進捗ギア」のデータ連携を実現しています。

３．５　電納ギア

「物件一覧表」から物件を指定して、「アプリケーション一覧」の「電納ギア」をダブルクリックすると、下の画面が表示されます。

この画面の左側には、指定された物件の積算結果の工種ツリーが、「ギアメニュー」を通して「電納ギア」に自動的に取り込まれて、写真管理のフォルダ階層として表示されています。（詳しくは「電納ギア」取扱説明書参照）



4. 各種マスタの設定

マスタ設定には、「請負者マスタ」「発注者マスタ」「技術者マスタ」「自社マスタ」が有ります。

マスタ設定メニュー



これらのマスタを事前に一度だけ登録しておくと、個々の物件の工事情報を入力するときに呼び出すだけで、再入力する必要がありませんので、非常に便利です。

4. 1 請負者マスタ設定

“請負者マスタ設定”を選択すると、下の「請負者マスタ一覧」画面が表示されます。



① 新規登録

“新規登録”を押すと、右の「請負者マスタ新規登録」画面が表示されます。この画面から新規の請負者を登録します。

請負者マスタ新規登録
コード
TEL
請負者名
FAX
代表者
E-Mail
郵便番号
大臣・知事コード
住所１
建設業許可番号
般
特
第
号
住所２
OK
キャンセル

②　変更

特定の請負者を選んで“変更”を押すと、「請負者マスタ変更」画面が表示されます。この画面からその請負者の情報を変更します。

③　削除

特定の請負者を選んで“削除”を押すと、その請負者は一覧表から削除されます。

こうして、マスタ登録されたデータは、個々の物件の“請負者情報“を登録するときに、呼び出します。

このボタンを押して請負者マスタを呼び出し、登録します。

４．２　発注者マスタ設定

“発注者マスタ設定”を選択すると、下の「発注者マスタ一覧」画面が表示されます。

変更

新規登録

削除

① 新規登録

“新規登録”を押すと、右の「発注者マスタ新規登録」画面が表示されます。この画面から新規の発注者を登録します。

② 変更

特定の発注者を選んで“変更”を押すと、「発注者マスタ変更」画面が表示されます。この画面からその発注者の情報を変更します。

③ 削除

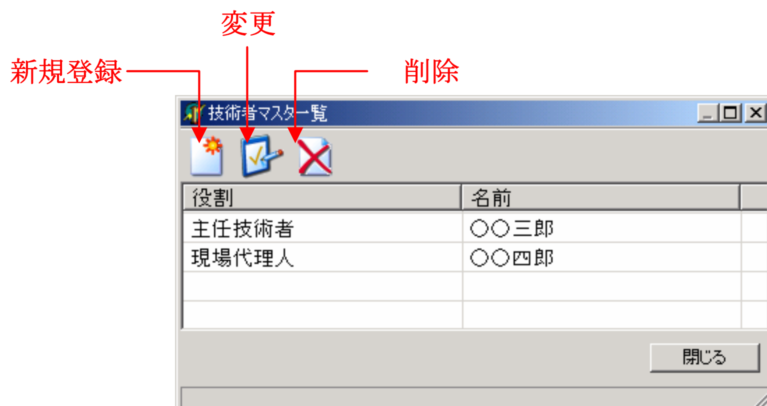
特定の発注者を選んで“削除”を押すと、その発注者は一覧表から削除されます。

こうして、マスタ登録されたデータは、個々の物件の“発注者情報“を登録するときに、呼び出します。

このボタンを押して発注者マスタを呼び出し、登録します。

４．３　技術者マスタ設定

“技術者マスタ設定”を選択すると、下の「技術者マスタ一覧」画面が表示されます。



①　新規登録

“新規作成”を押すと、右の「技術者マスタ新規登録」画面が表示されます。この画面から新規の技術者を登録します。

技術者マスタ新規登録
役割　名前
OK　キャンセル

②　変更

特定の技術者を選んで“変更”を押すと、「 … その技術者の情報を変更します。

技術者マスタ変更
役割　名前
主任技術者　○○三郎
OK　キャンセル

③　削除

特定の技術者を選んで“削除”を押すと、その技術者は一覧表から削除されます。

こうして、マスタ登録されたデータは、個々の物件の“技術者情報“を登録するときに、呼び出します。

このボタンを押して技術者マスタを呼び出し、登録します。

物件の名称変更
基本情報｜発注者情報｜請負者情報｜技術者情報｜積算情報｜自社項目
技術者マスタより選択　現在行の内容をマスタ登録

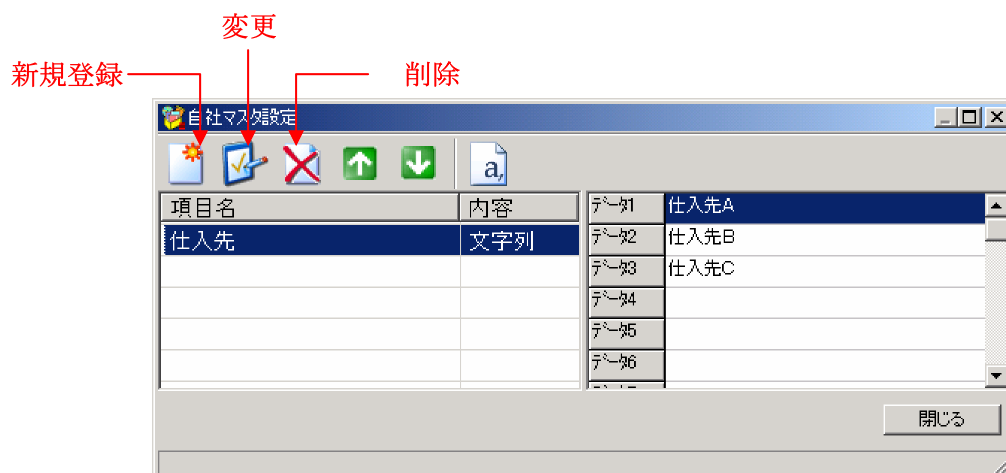
	役割	名前		役割	名前
1	現場代理人	松山次郎	11		
2	主任技術者	松山三郎	12		
3			13		
4			14		
5			15		
6			16		
7			17		
8			18		
9			19		
10			20		

※赤色文字項目はコリンズより取り込み可能な項目　OK　キャンセル

４．４　自社マスタ設定

「ギアメニュー」が管理する各物件の詳細情報は、様々な情報がありますが、これらの情報に加えて、ユーザー独自の情報項目を管理したい場合に使用します。

“自社マスタ設定”を選択すると、下の「自社マスタ設定」画面が表示されます。

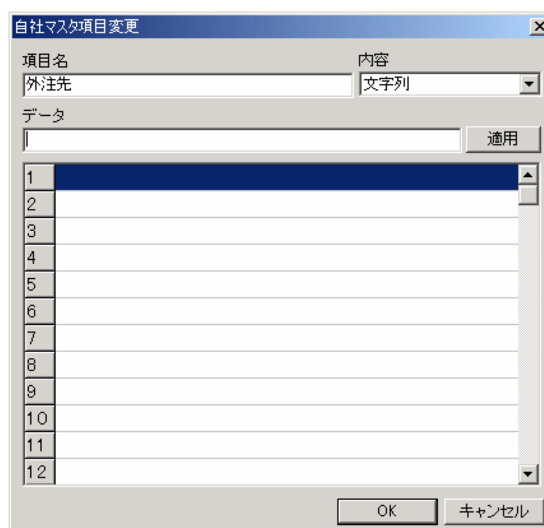


①　新規登録

上の例では“仕入先”という情報項目に仕入先Ａ・Ｂ・Ｃが登録されていますが、“外注先”という情報項目を追加登録してみましょう。

新規登録を押し、右の「自社マスタ項目変更」画面を表示させ、項目名に“外注先”と入力します。続いて、画面下部のデータ欄－１をクリックし、中央のデータ入力枠から“外注先Ａ”と入力して、横の“適用”を押して登録します。（下図）





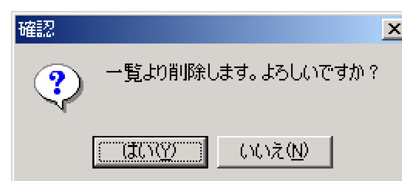
この操作を外注先の数だけ繰り返して登録していき、終わったら“ＯＫ”を押します。

②　変更

“自社マスタ設定”画面の変更したい“情報項目”指定して、“変更”を押すと、上の「自社マスタ項目変更」画面が表示されます。この画面から、“新規登録”と同様の操作によって、変更箇所を更新します。

③　削除

“自社マスタ設定”画面の削除したい“情報項目”指定して、“削除”を押すと、右の確認画面が表示されます。“はい”を押すと“自社マスタ設定”画面から該当の情報項目が削除されます。



こうして“自社マスタ”に登録されたユーザー固有の情報は、下の各物件の情報入力の“自社項目”画面で呼び出します。

“自社項目“を開くと下の画面が表示され、上で登録した”仕入先“と”外注先“の自社項目の入力枠が表示されます。

この入力枠にカーソルを移すと、プルダウンボタンが表示され、そのボタンでマスタに登録した個々のデータを呼び出し、その中から選択して入力します。こうして、その物件の自社項目データが設定され、他の詳細情報と同様に、文書ギアやその他のアプリケーションに引き継がれていきます。

５．その他の機能

５．１　「電納ギア」と「出来形ギア」のデータ連携

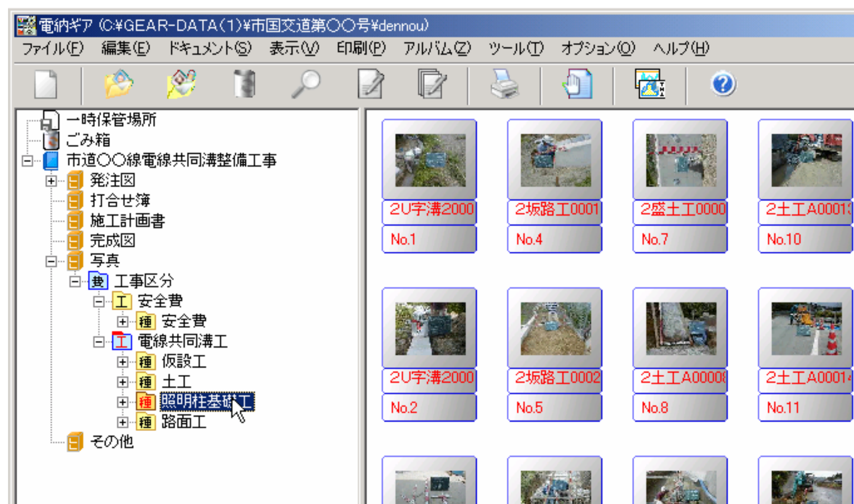
出来形寸法を記入した黒板を工事写真に写し取って、その写真から出来形データを入力する場合、「電納ギア」と「出来形ギア」をデータ連携させると便利です。いま、「電納ギア」に写真が登録されている状態で、データ連携の手順を追ってみましょう。

①　電納ギア立ち上げ

該当の工事を選択して、「電納ギア」を立ち上げます。（３．５　参照）

②　写真確認

当該工種のフォルダを開いて、写真を確認します。



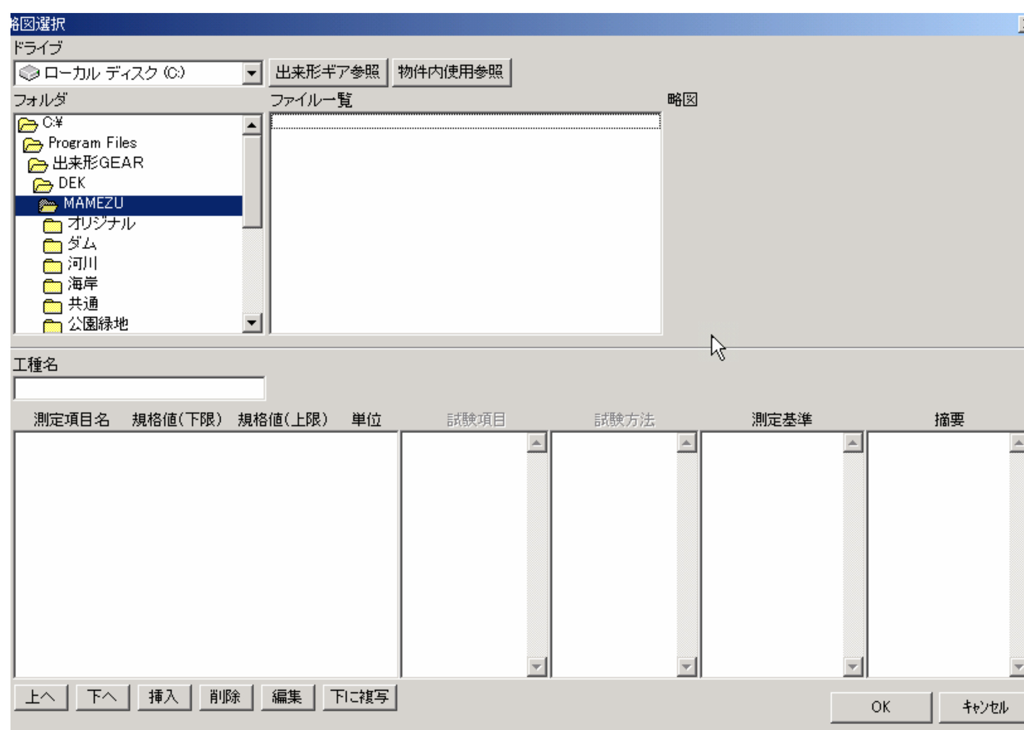
③　出来形の登録・解除

フォルダ上でマウスの右ボタンを押して、プルダウンメニュを開き、“出来形の登録・解除”を選択し、「出来形の登録・解除」画面を表示させせます。

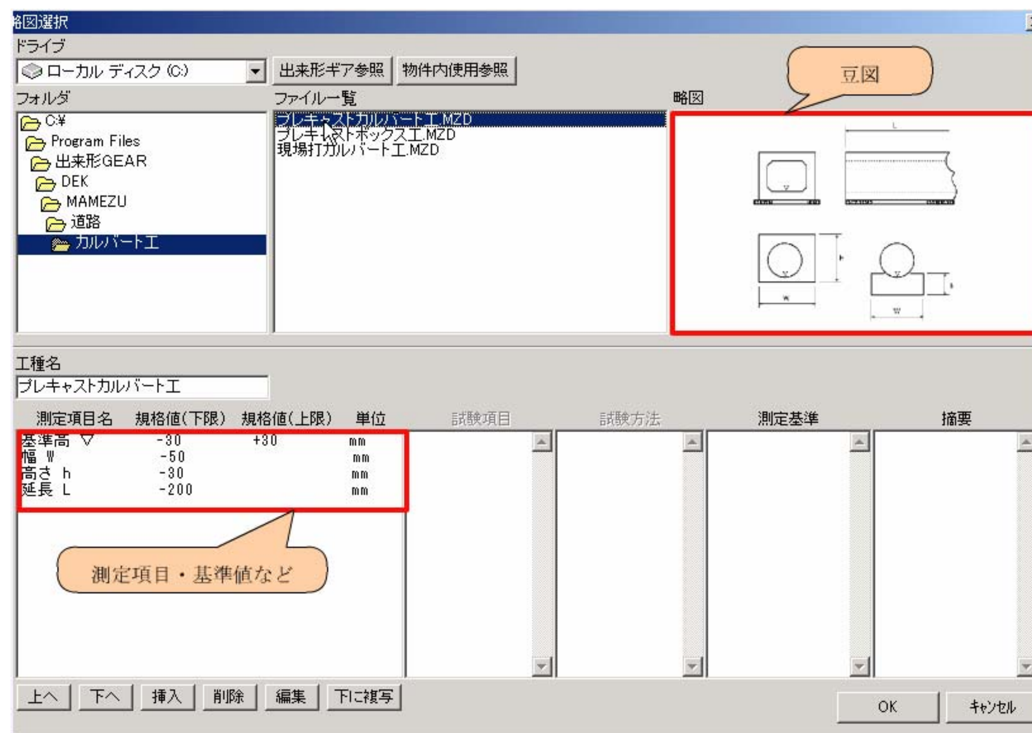


前ページの画面は「出来形ギア」とのデータ連携関係を登録したり、解除するための画面です。ここから、“登録”を押し、下の「豆図選択」画面を表示させます。

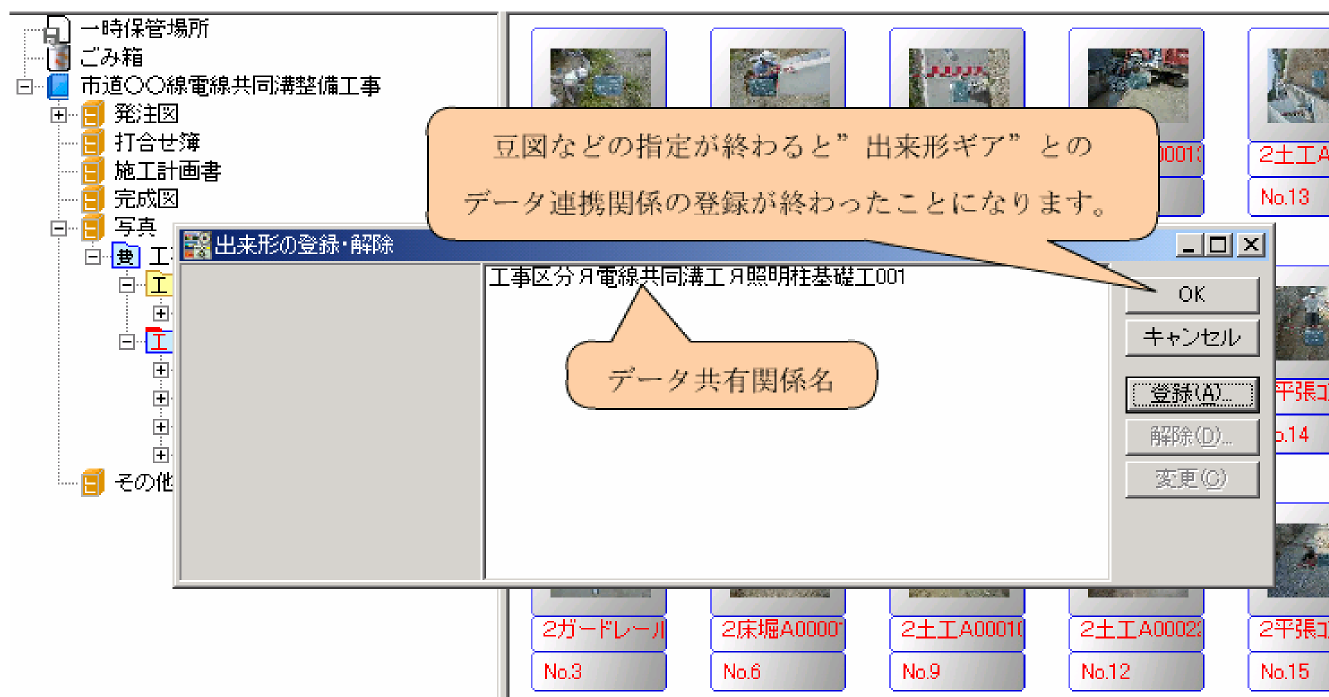
④　豆図について



標準豆図が登録されているフォルダの中から該当の豆図を選択して、“ＯＫ”を押します。



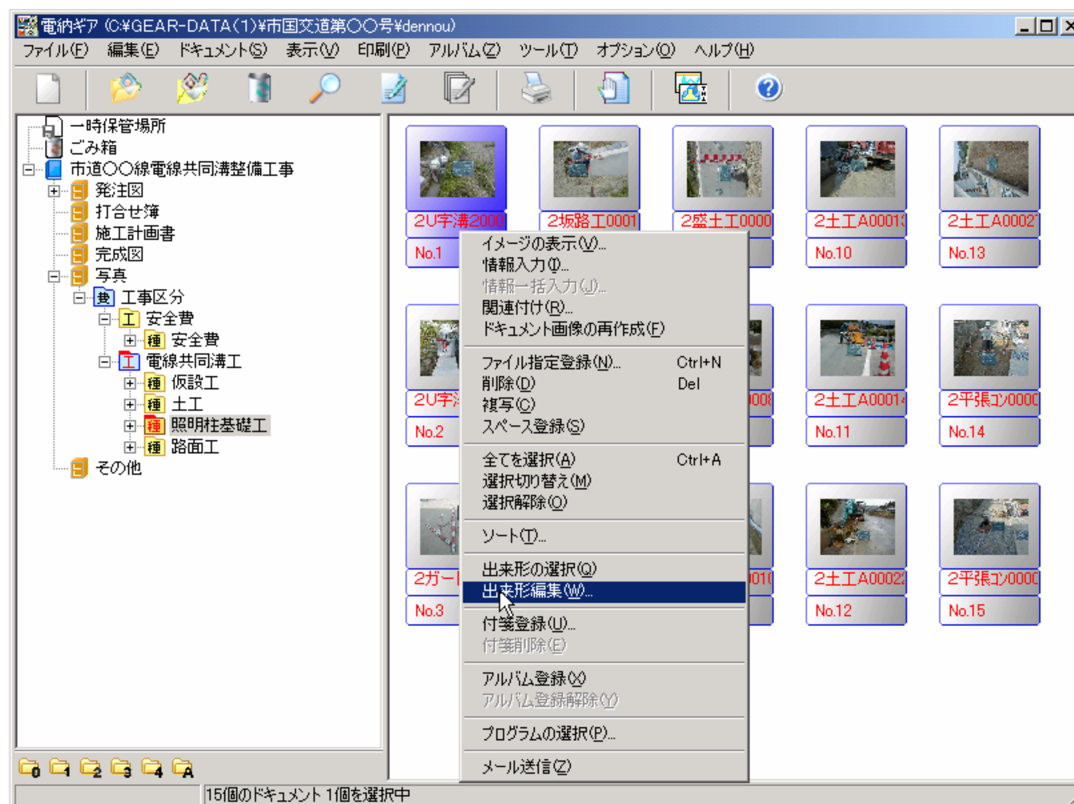
画面は次頁の「出来形の登録・解除」画面に戻り、「データ共有関係名称」が自動的に登録されています。ここまでで、データ連携関係の登録が終わったことになります。



"ＯＫ"を押すと、「出来形の登録・解除」画面が消えて、「電納ギア」の画面のみとなります。

⑤　出来形編集

ここから出来形データの入力が始まります。該当の写真を選択して、プルダウンメニューを開き"出来形編集"を選択します。



下の「出来形入力」画面が表示されます。この画面上の選択された写真のデータを見ながら、順次出来形データを入力していきます。

出来形入力

出来形選択　閉じる(X)　全体表示

対象のドキュメント

	設定	設定	設定	設定
項目名	規格値上限	規格値下限	設計値	実測値
基準高 ▽	30	-30		
幅 W		-50		
高さ h		-30		
延長 L		-200		

基準値

出来柄入力枠

測点指定枠

ドキュメントの測点:

sp01　測点編集

解除...

対象の豆図:

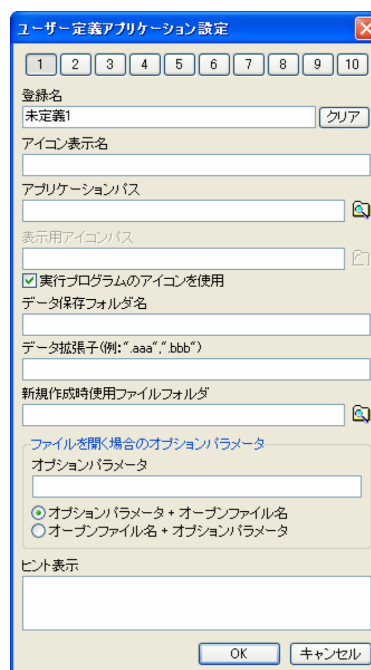
豆図

５．２　ユーザー定義アプリケーション設定

「ギアメニュー」基本画面の「アプリケーション一覧」の枠に、新しくアプリケーションを登録する手順を説明します。登録例としてフリーソフトウェアの JW_CAD を登録します。

基本画面の上部プルダウンメニューの“ユーザー”の“アプリケーション”を選択します。

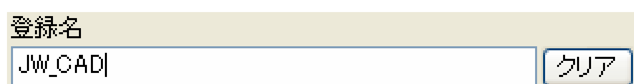


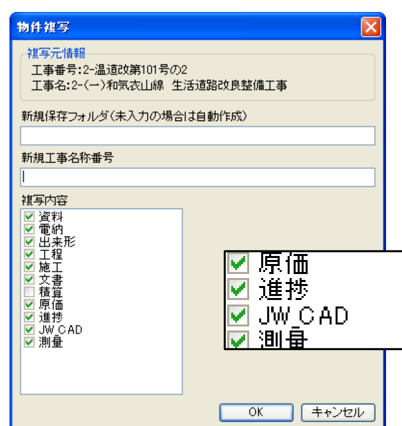


右の「ユーザー定義アプリケーション設定」画面が表示されますので、この画面に順次入力して登録します。

①　登録名

まず、アプリケーション名を登録します。ここで登録した名称は、「物件複写画面」等に使用されます。





②　アイコン表示名

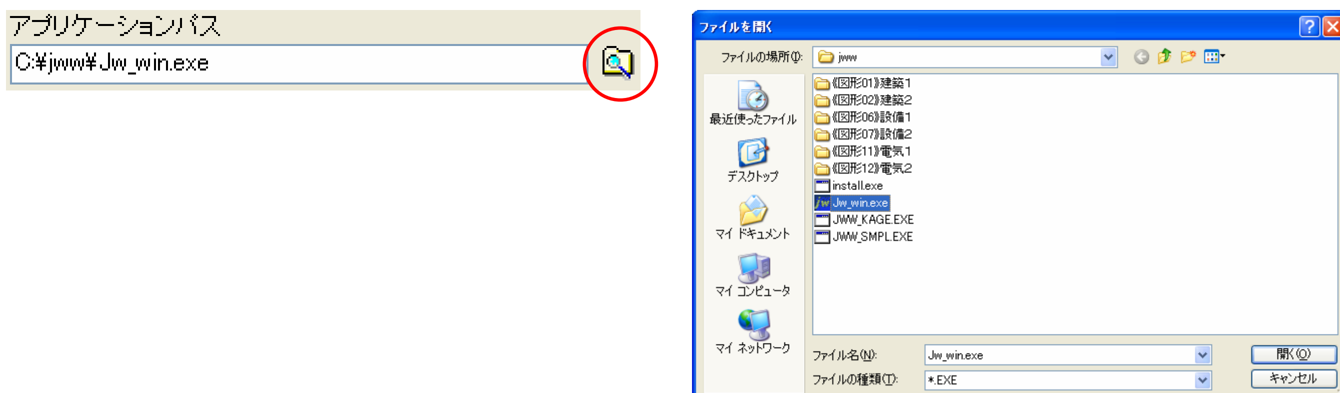
アイコン表示で使用するアプリケーション名です。ここで登録した名称は、「アプリケーション一覧」枠のアイコン表示時に使用されます。





③　アプリケーションパス

実行するアプリケーションプラグラムをフルパスで指定します。フォルダアイコンをクリックすると参照画面が表示されます。



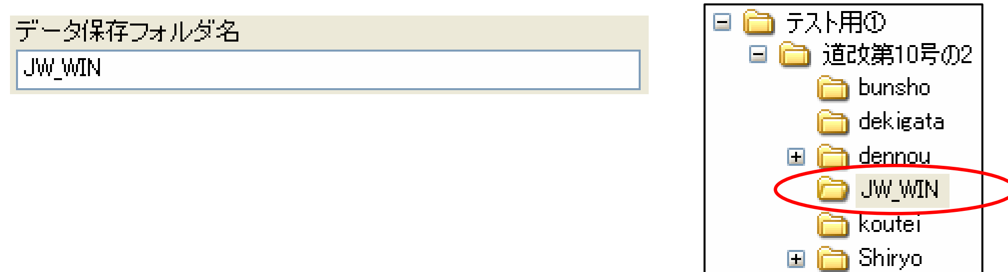
④　表示用アイコンパス

アイコン表示に使用するアイコンを変更したい場合にフルパスで指定します。標準はアプリケーションに内蔵されているアイコンを使用します。「実行プログラムのアイコンを使用」チェックを OFF にする事で設定可能になります。フォルダアイコンをクリックすると参照画面が表示されます。



⑤　データ保存フォルダ名

ギアメニューの物件フォルダ下に作成するデータフォルダ名です。ここで指定したフォルダが自動的に作成されデータが保存されます。



⑥　データ拡張子

登録アプリケーションで使用可能な拡張子を指定します。ここで指定された拡張子がフォルダ内に存在すると、ファイル一覧画面に表示されます。



設定時の注意点

・拡張子は必ず「.」ドットで始まる

・前後を必ず「“」ダブルクォーテーションで括る

・複数個指定する場合は必ず「,」カンマで区切る

データ拡張子(例:“.aaa“,“.bbb“)

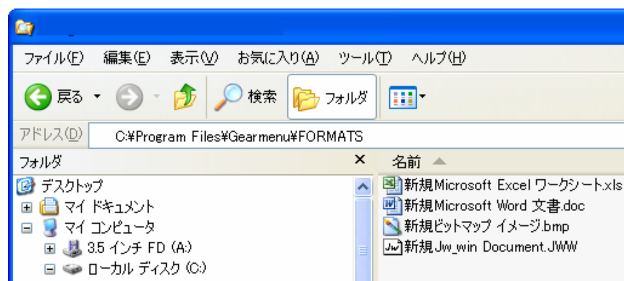
“.JWW“,“.SFC“,“.P21“

⑦　新規作成時使用ファイルフォルダ

登録したアプリケーションでデータを新規作成する場合は、ここで登録されたフォルダ内に存在する拡張子のファイルを、新規作成時の雛形として使用します。その為の新規作成用の空ファイルを準備しておくフォルダを指定します。※新規データ作成方法については、次頁を参照。

新規作成時使用ファイルフォルダ

c:¥program files¥gearmenu¥formats



⑧　ファイルを開く場合のオプションパラメータ

アプリケーションからファイルを指定して開く場合は、ほとんどの場合がアプリケーションパスの後にオプションパラメータとしてファイル名を指定するパターンですが、ファイル名以外のパラメータを設定する必要があるアプリケーションの場合に該当するパラメータを指定します。（パラメータについては各アプリケーションの取扱説明書等をご参照下さい）また、その場合のパラメータの位置も指定します。

ファイルを開く場合のオプションパラメータ

オプションパラメータ

◉ オプションパラメータ + オープンファイル名
○ オープンファイル名 + オプションパラメータ

⑨　ヒント表示

アイコン上にマウスカーソルを移動させた場合に表示されるヒントメッセージを指定します。何も指定しない場合は、アプリケーション名が表示されます。

ヒント表示

JW CAD
ヒントが表示されます|



５．３　登録済アプリケーションからの新規データ作成方法

操作例としてフリーソフトウェアの JW_CAD を使用します。

① 該当のアプリケーションのアイコンをダブルクリックします。
② 新規作成ボタンをクリックします。
③ 雛形ファイル選択画面が表示されるので、選択します。
④ 新規作成ファイル名を指定します。
⑤ 該当アプリケーションが起動するので作業をして保存します。

